



第27期 中間報告
2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日
株主通信



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり

証券コード：3360

バングラデシュ
病院建設・運営プロジェクトが順調に進捗



代表取締役会長 CEO

古川 國久



代表取締役社長 COO

小川 宏隆

▶ グループ理念

SHIP

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

▶ 基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、
この心を兼ね備えて生きることが
人間としての生きる基本姿勢であり、
当社グループの基本姿勢です。

▶ 2018年 スローガン

新 陳 代 謝

『成長』と『進化』はとまらない

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、長期目標として連結売上高1兆円を掲げる中、そのマイルストーンとして2018年4月より中期経営計画「SHIP VISION 2020」をスタートさせております。同計画は、高成長の持続とそれを支える柔軟で強靱な経営基盤を実現し、最終2020年度において連結売上高5,000億円、営業利益210億円の達成を目指すものです。約半年を経過した中で、各重点施策とも順調に進捗しております。当社グループは、同計画の完遂をもって、さらなる飛躍を遂げてまいります。

現在、当社グループを取り巻く環境は、少子高齢社会や団塊世代の高齢化、国・地方自体の財政状況などを背景に、持続可能な医療・介護制度に向けて大きな改革が進んでおります。その骨子となるものが「地域医療構想」と「地域包括ケアシステム」であり、両者とも「地域」全体を射程に入れ、各医療機関・介護施設・調剤薬局・在宅サービスなどとの連携を図る改革が進んでおります。一方、海外においては、経済発展を背景に高度医療へのニーズが高まり、先進の技術・ノウハウを誇る日本医療の活躍の場が広がっております。このように、変革する国内市場へのいち早い適応とチャンスの広がる海外市場への進出が、今後の持続的成長を実現する要となってきております。

このような状況のもと、当社グループは、医療機関・サービスのあり方が社会的に大きな課題となる中で、社会のイノベーターとして最適な地域医療づくりに取り組んでおります。

グループミッションである“生命を守る人の環境づくり”に則り、当社グループは、より良い医療環境の実現に努めていくと同時に、地域社会との関係性を大切にしながら経営を行ってまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業基盤のパラダイムシフトを推進

業績について

厳しい経営環境の中、期中計画を達成

当第2四半期の状況といたしましては、4月より診療報酬・介護報酬のダブル改定が実施され、特に医療材料の償還価格、薬価が大幅に引き下げられたことで非常に厳しい環境で推移いたしました。このような中、トータルパックプロデュース事業において大型プロジェクト案件の一部が前倒しで計上されたこと、ライフケア事業において入居者数の積み上がりが堅調に推移したことなどが業績に寄与し、売上高は前年同期比7.8%増の2,021億円となりました。また、収益面においても、海外事業や重粒子線治療施設などへの先行投資費用が発生したものの、継続的に経費削減に努めた結果、営業利益が3.8%増、親会社株主に帰属する四半期純利益で10.2%増となりました。このような状況の下、本年度よりスタートいたしました中期経営計画への取り組みに全力をあげてまいります。なお、同計画では、株主還元強化を重点施策としてあげており、その一環として当期間において自己株式取得を30億円、実施いたしました。

▶ 業績結果

(単位：百万円)

	期中予想 (2018年5月11日発表)	2018/9実績 (当第2四半期)	増減率
売上高	190,000	202,146	6.4%
営業利益	4,400	6,265	42.4%
経常利益	4,600	6,603	43.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,600	3,994	53.6%

事業基盤のスケールアップと強化

生産性向上とグループ連携を推進

「地域医療構想」や「地域包括ケアシステム」の推進による施設単独から「地域」への流れ、厳しさを増す病院経営や異業種参入などによる競争激化など、いま、医療業界は著しく変貌しております。このような状況下、当社グループは、生産性向上とグループ連携強化を軸に、変化への対応を推し進めております。「地域医療構想」については、これまで以上に幅広い知見とノウハウが求められる中、当社グループ内のサービスを結合していくとともに、サービス強化に向けたパートナーリングを進め、事業基盤のスケールアップを図っております。競争激化への対応としては、日常の改善活動をグループ全体で実施していくと同時に、IT技術を活用した業務全般の効率化を進め、生産性の向上を目指しております。

一方、事業展開を支える経営基盤の強化については、ガバナンス管理及びリスク管理をグループ内で徹底すると同時に、人材の育成・啓発に努め、柔軟で強靱な基盤づくりを進めてまいります。

▶ 変化への対応

激変するマーケット

- 施設単独から「地域」全体での最適な医療サービスの提供
- 市場ニーズの多様化と深化
- AI、ICT技術など第4次産業革命の波
- 激化する競争環境

スケールと質の改革

- ネットワーク強化／パートナーリングの推進
- 知見／ノウハウ／技術の再構成
- マーケティング力の強化
- グループ内業務統合による効率化

中期経営計画の進捗

各重点施策において、取り組みが進む

当期は、中期経営計画の初年度に当たり、これからの成長に向けた基盤づくりを主眼として取り組みを行っております。主力事業であるトータルパックプロデュース事業(TPP)では、大きく変わりつつある市場構造に適応するノウハウの蓄積を進めるとともに、市場ニーズを的確に捉えた製品・サービスを絶えず生み続けられる企業体質の再構築を進めております。メディカルサプライ事業(MSP)においてはスケールメリットの発揮、ドミナントエリア形成による競争優位性の確保を進めております。また、ライフケア事業では、介護サービスの差別化や人材の確保・育成に向けて、「ハローキティ」とのコラボレーションをグリーンライフ株式会社が運営する「ウエルハウス千里中央」で開始しております。また、第五の柱として育成を図るヘルスケアサービス事業では、本年3月の大阪重粒子線センターの開院、10月からの治療開始をはじめ、海外案件の取り組みも順調に進み、事業としての基盤が整いつつあります。中期経営計画への取り組みは、まだ緒に付いたばかりですが、着実に成果が上がってきております。

▶ セグメント別取り組み

トータルパックプロデュース事業	マーケットとの関係性を重視し、事業構造の改革を進める
メディカルサプライ事業	競争が激化する中で、効率化による生産性向上を進める
ライフケア事業	高稼働率維持と人材の確保・育成を進める
調剤薬局事業	各地域におけるポジションを固めると同時に効率経営をさらに進める
ヘルスケアサービス事業	事業としての採算性を確保するとともに、次の展開を進める

Bangladesh 病院建設・運営プロジェクトが順調に進捗

国際協力機構(JICA)との 出資契約を締結

当社グループが Bangladesh で進めている、病院建設・運営プロジェクトが順調に進捗しております。本プロジェクトは、民間セクターを活用して医療サービスの向上を目指す同国において、「日本の病院経営のノウハウを活かしつつ、良質な医療サービスを良心的な価格で Bangladesh の人々に提供する」ことを理念としております。現在、2020年のグランドオープンに向けて病院建設が進んでおりますが、本プロジェクトのより確実な成功に向けて、海外支援の豊富な経験とノウハウを有するJICAとの連携を図るべく、2018年7月に出資契約を締結いたしました。

本事業は、海外に日本の医療拠点を2020年までに20か所創設することを目指す日本政府の未来投資戦略(2017年)にも寄与するものです。当社グループは、この Bangladesh プロジェクトをモデルに、日本式の良質な医療施設運営ノウハウを広く新興国に導入していくことで、海外市場の開拓を進めてまいります。



署名式の様子(2018年7月3日)



建設現場風景

大阪重粒子線センター 治療開始

多くのTV番組が報道し、 関心の高さが現れる

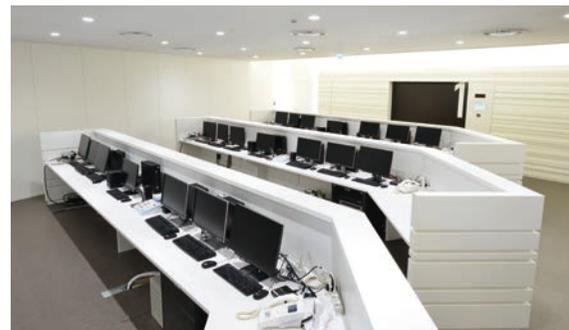
2018年3月1日より外来診療を始めた「大阪重粒子線センター」が、この10月16日から治療を開始いたしました。当施設は、放射線治療の最先端設備を備える中で、切らないがん治療への関心は非常に高く、報道機関からの取材も多く受けております。10月末時点で145人の予約があり、治療開始後1か月で12人の治療を完了しております。また、限局性前立腺癌、頭頸部癌の一部、切除不能な骨軟部腫瘍が保険適用となっており、2018年12月より保険診療を開始する予定です。

当センターの治療の特長は、なんといっても「切らずに、痛みもなく、高齢者にもやさしい治療」です。治療後に直ぐ、会社に出社したり、買い物に行ったりすることが可能です。実際、ある患者さんはスーツ姿で来られ、治療後、会社に向かわれました。

当社グループは、このように患者目線での医療サービスの提供支援を通じ、社会に貢献してまいります。



治療室



オペレーションセンター

▶ 外来受診・治療に関するお問い合わせ先

大阪重粒子線センター

住所 〒540-0008
大阪府大阪市中央区大手前3-1-10

TEL 06-6947-3210

FAX 06-6947-3211

HP <https://www.osaka-himak.or.jp/>

手術材料管理をよりスマートにし、 SPDの付加価値に貢献

当社グループは、メディカルサプライ事業として、医療施設に対して診療材料・医療用消耗品を管理・提供しております。近年は、病院外に設置された当社グループの物流センターで物品の効率的な管理を行う院外SPDシステムが主流になってきております。このような中で、病院経営の厳しさや医療従事者の人手不足・労働環境改善に対応する、コスト削減・省力化がSPDに求められております。当社グループの小西医療器株式会社は、この要請に応え、手術材料分野においてRFID*を活用した新しい管理システム「PrecisionID」を稼働させました。同システムは、非接触型の無線通信を活用することで、大幅に作業効率を高めると同時に、データによる見える化を可能にしております。当社グループは、ICT技術を取り入れながら医療サービスに求められる安全と効率化をこれからも積極的に進めてまいります。

▶ 「PrecisionID」の特長

精密性

完全デジタル管理を実現

効率性

働き方改革を見据えた
効率的でシンプルな仕組み

安全性

データによる見える化で
供給医療材料の安全性を担保

※RFID(radio frequency identifier)とは、ID情報を埋め込んだRFタグから、近距離の無線通信によって情報をやりとりするもの、および技術全般を指します。

▶ 手術材料管理システム



「ウエルハウス千里中央」で キャラクターが登場

ライフケアグループは、介護施設・サービスのイメージアップと人材の確保・育成に向けて、株式会社サンリオとライセンス契約を締結し、イメージ戦略を展開しております。この具体的取り組みとして、グリーンライフ株式会社が運営する「ウエルハウス千里中央」でキャラクター展開が始まりました。施設内では様々なスペースにハローキティが登場すると同時に、インスタ映えするような撮影場所も設けております。また、ホームページや送迎車にもキャラクターを活用し、施設にとどまらずサービス全体のイメージアップを図っております。施設ご利用者やそのご家族の方にも大変評判がよく、皆さまの話題にもなっております。また、スタッフにも好評で、働きがいある魅力的な職場づくりにも貢献しております。当社グループは、このモデルケースを基に、ハローキティの他施設への展開を進め、ライフケア事業のブランド力を高めてまいります。



©1976,1999,2018 SANRIO CO.,LTD.
APPROVAL NO.G593142



施設内観



ハローキティ
ラッピングの
送迎車



施設でのイベント開催

メーカー系で新たな動きが始まる

BtoC製品への技術協力、 製品の開発を推進

当社グループのメーカー系企業は、医療用として培ってまいりました高い技術力をもとに、一般消費者向けに様々な活動を行っています。医療照明で業界屈指の実力を持つ山田医療照明株式会社は、新しい家電のあり方を追求するバルミューダ株式会社の新製品 子供向けデスクライトの開発に技術協力し、手術灯のテクノロジーを活かした技術が活用されています。

また、医療・福祉機器の老舗メーカーである酒井医療株式会社は、1つのプローブで治療部位の浅部・深部・広範囲に超音波を発信でき、加えて低出力パルス発信が可能な超音波治療器「フィジオソノ」を発売し、好調に推移しております。

当社グループは、このような動きの中で、メーカー系の事業拡大を目指してまいります。

BALMUDA The Light



バルミューダ(株)、山田医療照明(株) 共同開発

SAKAimed



超音波治療器「PHYSIO SONO(フィジオソノ)」

自己株式取得を実施

計画を一部前倒し、 約30億円の自社株買いを実施

2018年度よりスタートいたしました中期経営計画「SHIP VISION 2020」では、重要施策の一つに株主還元強化を定めており、「配当性向30%以上の確保」「機動的な自社株買い」を具体的施策として掲げておりました。この内、自社株買いにつきましては、同計画で年間20億円を上限に3か年(中期経営計画期間)に亘り実施する予定でしたが、2018年5月11日の取締役会の決議に基づき、計画を一部前倒して当上期に約30億円の自己株式取得を実施いたしました。

当社グループは、上記の株主還元強化策を進めると同時に、長期目標である連結売上高1兆円の達成を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。



取得の内容

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	734,300株
株式取得価額の総額	2,999,762,000円
取得期間	平成30年5月14日～平成30年7月9日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

(注) 平成30年9月30日時点の自己株式の保有状況
発行済株式総数(自己株式を除く):49,864,811株、自己株式数:969,889株

アンケートへのご協力ありがとうございました。

第26期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、575名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2018年8月6日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

▶ 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



▶ 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？



▶ その他様々なご意見の一部

- SHIPの経営理念の一層の追求をお願いしたい。
- 大阪重粒子線センターの成長期待。
- 長期保有優遇を含めた株主優待を実施してください。
- 中期経営計画の目標達成に全力をお願いします。
- 今後の一層の海外展開を期待しています。
- 株主通信の内容がとても充実していると思います。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もSHIPヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

業績の概要

▶ 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

	2016/3	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9 当第2四半期	2019/3 (通期予想)
売上高	306,853	408,487	187,456	425,566	202,146	440,000
営業利益	14,049	16,055	6,036	18,259	6,265	17,500
経常利益	14,737	16,478	6,309	18,935	6,603	17,800
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	8,847	9,410	3,625	10,350	3,994	10,500
総資産	218,456	263,540	247,759	285,438	257,539	—
純資産	81,522	93,632	94,956	102,354	101,112	—

▶ セグメント情報 (2018年4月1日～2018年9月30日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、下期に偏重している病院完成案件の一部が期初計画より前倒しで計上される一方で、メーカー系については前期と比較して低調な業績となりました。

この結果、売上高は37,736百万円(前年同四半期連結累計期間比19.3%増)、セグメント利益(営業利益)は2,667百万円(前年同四半期連結累計期間比0.2%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期における新規SPD施設立ち上げが順調に推移したこと等により概ね計画通り進捗いたしました。

この結果、売上高は137,553百万円(前年同四半期連結累計期間比6.0%増)、セ

グメント利益(営業利益)は1,713百万円(前年同四半期連結累計期間比8.5%増)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、介護報酬改定はあったものの、経営効率化やキャラクターを利用した入居促進策等により、期初より入居者数が積み上がり、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は11,876百万円(前年同四半期連結累計期間比6.3%増)、セグメント利益(営業利益)は860百万円(前年同四半期連結累計期間比111.8%増)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の出店計画や継続的な経営効率の改善策

を実施したものの、調剤報酬改定の影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。

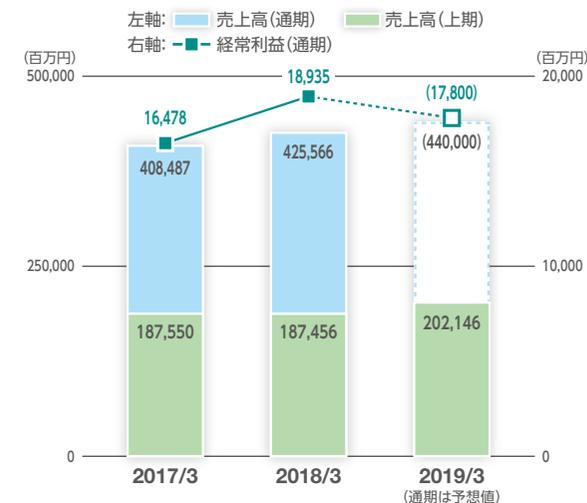
この結果、売上高は12,350百万円(前年同四半期連結累計期間比1.8%減)、セグメント利益(営業利益)は953百万円(前年同四半期連結累計期間比29.2%減)となりました。

その他

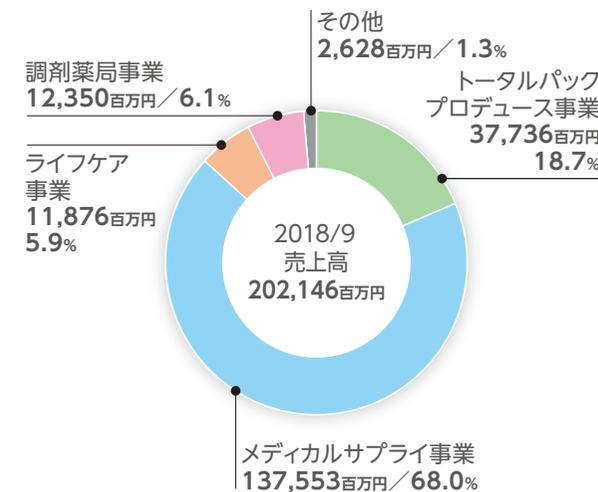
その他におきましては、動物病院の運営、理化学機器の販売が共に概ね計画通り進捗いたしました。また、セキュリティサポート会社の業績が前期に引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,628百万円(前年同四半期連結累計期間比13.2%増)、セグメント利益(営業利益)は252百万円(前年同四半期連結累計期間比76.2%増)となりました。

業績トレンド



セグメント別売上高構成比 (2018/9)



会社情報

(2018年9月30日現在)

▶ 会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役会長 CEO 古川 國久
 代表取締役社長 COO 小川 宏隆
 資本金 155億5,301万円
 決算月 3月
 従業員数 連結 5,802名(正社員) 10,825名(従業員)
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL: 06-6369-0130
 FAX: 06-6369-3191

▶ 役員

代表取締役会長 CEO	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役社長 COO	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 浩太
取締役副社長	沖本 浩一
専務取締役	増田 順
専務取締役	小林 宏行
常務取締役	横山 裕司
取締役	早川 澄雄
取締役(社外)	和田 義昭
取締役(社外)	佐野 精一郎
常勤監査役	細川 賢治
常勤監査役(社外)	岩元 廣志
監査役(社外)	中山 秀光
監査役(社外)	大山 博康
監査役(社外)	大内 陽一郎

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp/>



株式関連情報

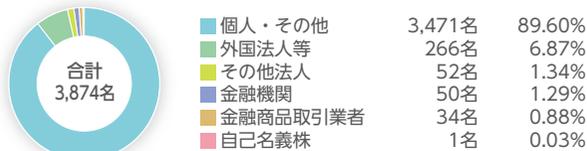
(2018年9月30日現在)

▶ 株式の状況

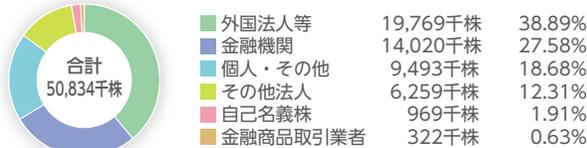
発行可能株式総数.....64,000千株
 発行済株式総数.....50,834千株
 株主数.....3,874名

▶ 株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)



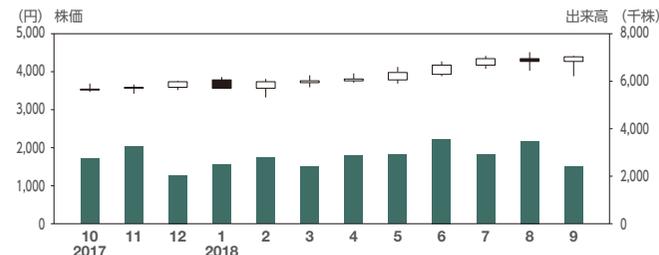
※ 株主数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

▶ 大株主の状況

	[持株数]	[持株比率]
株式会社コッコー	3,988千株	7.99%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,383千株	6.78%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,114千株	6.24%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,931千株	3.87%
春日興産合同会社	1,400千株	2.80%
GOVERNMENT OF NORWAY	1,324千株	2.65%
古川 國久	1,236千株	2.48%
古川 幸一郎	1,230千株	2.46%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,185千株	2.37%
全国共済農業協同組合連合会	1,046千株	2.09%

※ 株主数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

▶ 株価・出来高の推移



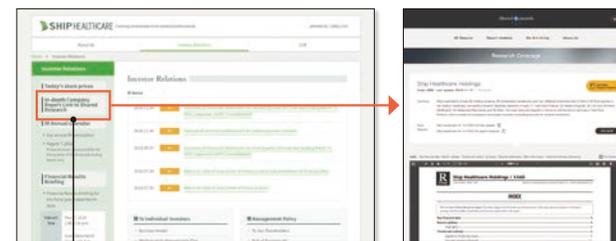
株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領 3月31日
 株主確定日 毎年6月中
 定時株主総会 三菱UFJ信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 及び特別口座の口座管理機関を
 変更しております。なお、株主名簿管理人については
 変更ございません。
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告によりおこなう
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、
 その他のやむを得ない事由が生じたときは、
 日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

英文ホームページを開設しました。 <https://www.shiphd.co.jp/en/>



▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc. Please check <https://sharedresearch.jp/en/3360> to view the report.